



進路に備える

今月半ばまでに就職、進学を含め、4年生6名について進路が内定しました。

1～3年生のみなさんは、卒業後の進路についてどのように考えているでしょうか。年度初めに毎年進路希望調査を提出してもらっていますが、実のところあまり具体的なイメージが持てないという人も多いかもしれません。卒業までにとか、卒業してからゆっくり考えればいい、という考えもあるかもしれませんが、なりゆきまかせにしていると資金や実力の不足から機会を逃し、結果的に選択の幅を狭めることもあるので注意が必要です。

進学、就職それぞれの進路について、4年生になる前にやっておいたほうが良いこと、準備しておくべきことをまとめたので、参考にしてください。

就職希望の人

- 決まった時間に起きる（生活習慣を整え、欠席日数を減らす）
- アルバイトをする（目的：自分の職業適性を理解し、生活習慣を整え、運転免許取得費用や受験のための交通費、スーツ代など進路に必要な資金を用意する）
- 卒業までに運転免許を取得する（特に県内就職希望の場合）
- リクルートスーツを用意する（7月からの就職活動に必要）



進学希望の人

- 志望校、受験方法を決める（理由：いまどきの受験は、受験先、受験方法によって対策が大きく異なります。自分の強みを生かしてどのような入試を受けるか、早めに決めて準備をしておくことがとても大切です。何となく勉強していれば何となくよい学校に進学できるということではありません。）
- 進学資金を準備する（学部にもよりますが、私立の場合、大学短大専門学校いずれも、授業料と教材費を合わせて1年間で120万円以上の費用が必要になります。全てを給付型奨学金で賄うことは非常に難しいので、自己資金の準備は必須です。）

運転免許について

今年7月に実施した「卒業生と語る会」で、卒業生の一人が、「運転免許は就職してから取れば良いと思っていたらなかなか通う時間が作れず、雨の日などに自転車で通勤するのがつらい。」と話があり、とても印象に残っています。



県内で就職する場合、自動車の運転が必要な職種でなくても、公共交通機関が止まる深夜や早朝にシフトが入る3交代制のある企業では、通勤用自動車が必要になります。

人手不足が社会問題となる中、ドライバー職について入社後に社内の教習所で無料で運転免許を取得できたり、免許取得にかかった費用を補助する制度を設けている企業もあります。こうした制度を設けているのはほとんどが県外企業ですが、興味のある人は、進路担当に声をかけてください。具体的な資料等をお見せします。